

科目ナンバリング		U-LAS21 20006 SO48									
授業科目名 <英訳>		ドイツ語II B D2154 Intermediate German B				担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 谷口 栄一			
群	外国語科目群			分野(分類)					使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2024・後期		曜時限	火2		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向		
【授業の概要・目的】											
【読解】人文科学分野の論文を精読しながら、ドイツ語読解力のレベルアップを目指す。初級の知識を重視しつつ、名詞文体や造語法に慣れてもらい、硬い文章（難解という意味ではない）が正確に読めるだけの語学力をつけてもらうよう指導する。											
【到達目標】											
辞書を用いて、ドイツ語で書かれた論文や新聞雑誌の記事、ウェブサイトの情報などをほぼ正確に読み、そこから情報が得られるようになること。											
【授業計画と内容】											
この講義はフィードバックを含む全15回で行う。 『陶酔と現実』と題された薬物の歴史に関する書物（全3巻、1982年刊行）の中から、マールブルク大学教授（当時）であったイルムガルト・ミュラー（薬学・生物学）によって書かれたコーヒーの歴史に関する1章を精読する。約1000年におよぶコーヒーの文化史に関して、語源や原産地の話から説き起こして、ヨーロッパへの伝播、嗜好品として定着していった過程、薬物としてのコーヒーをめぐる言説を中心に述べている。第1回の授業では、担当教員自作の教材を用いて、初級知識（接続法、受動態など）を整理する。第2回からテキストの精読を始める。本文を訳読し、担当教官自作のプリントを配付するなどして、文法・語法の丁寧な解説をおこなう。											
【履修要件】											
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。											
【成績評価の方法・観点】											
成績評価は、平常点（予習発表成績）50点と期末試験（授業範囲から出題）50点。											
【教科書】											
授業中にテキスト（Irmgard Müller: Einführung des Kaffees in Europa）、注釈書、文法プリントを配付する。											
【参考書等】											
（参考書） 授業中に紹介する （関連URL） http://www7b.biglobe.ne.jp/eiichi (受講者用サイト)											
【授業外学修（予習・復習）等】											
毎回授業時に次回までの課題（予習）の範囲を明示する。本文の和訳（発表）ができるように予習しておくこと。期末試験は授業中にやった範囲から出題するので、復習はきちんとやっておこう。またウェブ上に受講者向けのサイトを設置しているので、有効に活用されたい。											
【その他（オフィスアワー等）】											